



全国高校生体験活動顕彰制度

# 地域探究プログラム

令和7年度事業報告書&事業終了記念誌



 **ちいぽろ!**



National Institution For Youth Education  
国立青少年教育振興機構



全国高校生体験活動顕彰制度委員会委員長  
板東 久美子

# ご挨拶

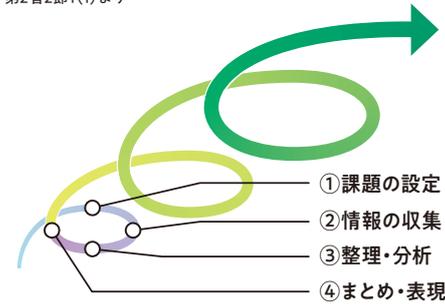
全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」(愛称:ちいぶろ!)は、本年度をもって一定の区切りを迎えることとなりました。制度の立ち上げから7年間、全国の高校生が地域に向き合い、自らの探究心をもって活動に取り組む姿を見守ってまいりましたが、これまで続けてきたのは、ひとえに関係各位の温かいご理解と力強いご支援の賜であり、心より御礼申し上げます。

本制度は、高校生の興味・関心と地域・社会に存在する様々な課題を結び付け、多様な人々と協働しながら探究のプロセスを用いた実践活動を行う事で、地域や自然環境に愛着を持ち、新たな価値を創造することができる高校生を育成することを目的としてスタートいたしました。学校関係者の皆様には、日々の教育活動のご多忙の中で生徒の挑戦を後押ししていただきました。自治体・地域団体の皆様には、探究のフィールドとして多様な学びの機会を提供いただきました。そして何より、全国の高校生の皆さんが、それぞれの地域に真摯に向き合い、新たな価値を生み出そうとする姿勢は、委員会一同にとって大きな励みであり、本制度の意義を改めて確信させるものであります。

7年間の取り組みを通じて蓄積された知見や成果は、今後の体験活動や探究学習の発展に寄与し、次代の学びの基盤となっていくものと考えております。本制度に関わってくださったすべての皆様に、改めて心から感謝申し上げますとともに、ここで育まれた高校生の経験が、未来を創る力となることを願っております。

## 探究のプロセス

高等学校学習指導要領解説(総合的な探究の時間編) 第2省2節1(1)より



### 探究的な学習とするための指導のポイント

#### ①課題の設定

事前に参加者の発達や興味・関心を適切に把握し、これまでの生徒の考えとの「ずれ」や「隔たり」を感じさせたりする工夫をする。

#### ②情報の収集

課題意識や設定した課題を基に、観察、実験、見学、調査、探索、追体験などを行う。

#### ③整理・分析

②の学習活動によって収集した情報を整理したり、分析したりして思考する活動へと高めていく。

#### ④まとめ・表現

他者に伝えたり、自分自身の考えとしてまとめたりする学習活動に位置づけ、そこから新たな課題が湧きあがるようにする。

## 地域探究プログラムの構成



### STEP 1 地域探究トライアル

#### オリエンテーション合宿

指定されたカリキュラムに基づいて実施される、実践活動のための学びの場であり、地域探究プログラムの「はじめの一歩」です。

#### 実践活動

合宿で学んだことをもとに、参加者自身が実施する活動です。

#### オリエンテーション合宿

終了後、オリエンテーション合宿修了証発行



探究のプロセスをもとに、自分で考え、人や物と関わり、社会を知り、成長した未来の自分につなげる

自分に自信をもつことができる

各賞授与

全国ステージ

実践活動  
地方ステージ

実践活動終了後、地域探究トライアル修了証発行

#### 地方ステージ

実践活動を行い、報告書を受理された者が出場できます。高校生がプレゼンを行い、全国ステージに進む代表者を決定します。

#### 全国ステージ

地方ステージにて選出された参加者が出場できます。優秀者には文部科学大臣賞など各賞が授与されます。

### STEP 2 地域探究アワード

## 令和7年度 実施状況

|                 |        |                   |      |
|-----------------|--------|-------------------|------|
| オリエンテーション合宿実施施設 | 23施設   | 地域探究アワード地方ステージ出場者 | 161名 |
| オリエンテーション合宿参加者数 | 1,123名 | 地域探究アワード全国ステージ出場者 | 30名  |
| 実践活動報告書提出者数     | 293名   |                   |      |



# 出場者紹介

受賞者の報告書や  
当日の発表動画は  
こちらから確認できます。



## 個人部門

関東・甲信越ブロック

### 文部科学大臣賞

**石原 歩佳**(法政大学第二高等学校)

想いをつなぐ大田区地域活性化計画

～大人が感じる課題は、未来の私たちが受け継ぐ課題～

大田区の認知度向上を目指し、観光客調査や区民アンケートを実施。SNS強化や富士山スポット、若者の「観光スキマボランティア」制度を区に提案し、政策参画を促した。

中国ブロック

### 金賞

**飯田 悠禾**(山口県立山口高等学校)

山口の観光客を増やすために

～山口とクリスマスのつながりをいかした町おこし～

山口市とクリスマスの歴史的つながりを活かした町おこしのため、文献調査や他県の事例を研究。アンケートで需要を分析し、独自のイベント企画や効果的な情報発信を検討した。

東北ブロック

### 全国高校生体験活動顕彰制度委員会委員長賞

**角田 陽咲**(福島県立光南高等学校)

物語と心理を組み合わせることができる可能性作り

～経験したこと、物語と心理を組み合わせ～

自らの不登校経験を基に、演劇の共感性を活かした心理ワークショップを企画。不登校問題やいじめへの理解を深め、当事者のリカバリーを支援する活動を校内外で実施した。

中部ブロック

### 国立青少年教育振興機構理事長賞

**東條 茉生**(京都府立東宇治高等学校)

宇治から広がる思いやりの心

～人と人がつながり、世界が動き出す～

観光公害解決を目指しボランティア団体を設立。ゴミの比較調査や訪日外国人への啓発活動を行い、多言語サイト制作など「思いやり」を軸に人の意識と行動の変容に取り組んだ。

九州・沖縄ブロック

### 国立青少年教育振興機構特別賞

**小森 音々**(長崎県立佐世保南高等学校)

佐世保みかんを使って地域貢献

佐世保みかんによる地域貢献のため農家やJAを訪問。規格外みかんの有効活用を目指し、糖度調査を経てドレッシングやボン酢を試作り、企業との連携を模索する活動を行った。

北海道ブロック

### 国立青少年教育振興機構理事長賞

**堺 真愛・古垣 透哉・山中 帆夏**(北海道剣淵高等学校)

おいでよ！剣淵町！

～みんなで推しパカに投票だ！～

剣淵町を盛り上げるため、ビバアルパカ牧場と協力し「推しパカ総選挙」を企画。来場者特典の制作や多媒体での情報発信を行い、町の希少な魅力を発信して誘客を図った。

## グループ部門

東北ブロック

### 金賞

**柴田 空・菊池 一颯・瀬川 隼人・高橋 司**(岩手高等学校)

目指せ！ふるさと納税返礼品

～青果店がパラスポーツを応援する方法～

青果店によるパラスポーツ支援のため、選手と共同で季節のレシピを開発。サブスク販売サイトの構築やふるさと納税への登録を通じ、寄付を生む持続的な仕組みを構築した。

関東・甲信越ブロック

### 全国高校生体験活動顕彰制度委員会委員長賞

**掛本 萌衣・柴田 紘希・鈴木 颯士郎・勝又 朝日**(静岡県立御殿場南高等学校)

御殿場 夢をツナグまちプロジェクト

若者の地元離れを防ぐため、高校生の「夢」と地域の仕事をつなぐポスターを制作。地域で働く大人の思いを可視化し学校等に展示することで、地元職業への興味と愛着を高めた。

近畿ブロック

### 金賞

**榎本 そら・船越 あおい・沖野 杏**(兵庫県立洲本実業高等学校)

広げよう！未来への渦

～海から始める、島まるごと環境保全アクション～

淡路島の海・山・暮らしの循環を守るため、海岸清掃に遊び心ある企画を導入。放置竹林を器として再利用する活動と合わせ、楽しみながら環境保全に取り組む仕組みを構築した。

九州・沖縄ブロック

### 国立青少年教育振興機構特別賞

**戸田 結子・岡 美帆**(長崎県立佐世保南高等学校)

西海市の未活用資源を使って地域の未来に貢献

～牡蠣殻×みかんの皮でチョコレート作り～

西海市の廃棄資源である牡蠣殻とみかんの皮を再利用し、チョコレートを開発。材料の粉碎や配合の実験を重ね、環境負荷を抑えつつ地域の魅力を伝える商品として製品化に取り組んだ。

中部ブロック

### 金賞

**堀田 果歩・花木 咲良・谷川 凜太郎・小倉 周悟**(高山西高等学校)

地域で守る高齢者

～発災前に私達ができること～

高齢者の安全な避難を目指し、市役所や住民への聞き取りを実施。現状の不安を分析し、配色や構成を工夫した「高齢者のための防災ガイド」を制作して各協議会を通じて配布した。

四国ブロック

### 文部科学大臣賞

**高田 ゆず姫・川之内 隆希・山佐木 后希・柴田 康輝・竹本 涼花**(愛媛県立長浜高等学校)

商店街回遊プロジェクト「長浜謎解きラリー」

～手作り×DXを目指す 魅力的かつ持続可能な街歩きコンテンツ～

商店街活性化のため、LINEを活用した常設型「謎解きラリー」を企画。手書きのオリジナルキャラや謎を作成し、スマホ一つで回遊できる仕組みで美店舗への送客を実現した。

## 令和7年度先輩サポーター

| 氏名    | 出場年度    |
|-------|---------|
| 東 琴乃  | 令和3年度   |
| 東 琉斗  | 令和4・5年度 |
| 豊田 彬人 | 令和5年度   |

| 氏名    | 出場年度  |
|-------|-------|
| 野村 隼叶 | 令和5年度 |
| 森下 颯樹 | 令和6年度 |

# オリエンテーション合宿の事例紹介

## 学校・団体参加型

主催：国立諫早青少年自然の家  
 期間：令和7年4月22日(火)～23日(水)  
 連携先：佐世保南高校文理探究科1年生 80名

### 合宿の内容

諫早大水害をテーマに「防災・減災」を探究する1泊2日のプログラム。初日はDVD視聴と講話で災害の背景を学んだ後、危機管理課の職員による案内で市街地のフィールドワーク(まち歩き)を実施。被災の実態と地域防災の仕組みを理解しながら、自分たちが暮らす地域に置き換えて考える力を養いました。  
 2日は諫早市・佐世保市の防災マップを用い、「自助・共助・公助」の視点から対策を整理。班ごとに発表し、地域での安全や備えについて主体的に学ぶ姿が見られました。

### ここがポイント! 「“防災を自分事に”変える、学びが深まる1泊2日」

- ・“災害を自分事に”変えるリアルな学び
- ・80名規模での協働学習がコミュニケーション力を育む
- ・フィールドワーク×防災マップで課題を見える化
- ・探究の基礎が身につき、今後の学校探究へつながる!



## 個別参加型

主催：国立能登青少年交流の家  
 期間：令和7年7月19日(土)～21日(月祝日)2泊3日  
 連携先：羽咋市邑知公民館神子原分館、有機農家、元菅池町 町会長、富山大学経済学部学生

### 合宿の内容

能登の中山間地域である菅池町を舞台に、有機農家や元町会長から地域の現状と課題、移住者支援のリアルを学びました。フィールドワークでは農地を訪れ、農業の魅力や生産・経営の課題を生声から理解。講義では大学生アドバイザーから探究の考え方を学び、グループで課題整理と改善策の検討、プレゼンテーションにも挑戦しました。3日間の体験を通じて、多様な価値観・視点に触れながら、自分自身の進路や地域への関心を深める機会となりました。

### ここがポイント! 「“地域のリアル”に触れて、自分の探究が動き出す3日間」

- ・農業のリアルを“当事者”から学ぶ!
- ・多様な高校の参加者と交流し、新しい視点を獲得
- ・大学生アドバイザーによる探究の深掘りサポート
- ・満足度100%、学びと気づきが詰まった3日間!



## 地方ステージ

実践活動の報告・発表と様々な地域課題を解決するために探究活動を実践した高校生同士の交流を行うため、全8ブロックで開催しました。各ブロックで選出された個人及びグループが全国ステージへ進みます。



## 全国ステージ

令和8年度2月14日(土)～15日(日)にオンラインで開催しました。先輩サポーターの司会・進行のもと、地方ステージで評価委員からいただいた質問や意見を反映し、個人・グループ部門共に自身の取組みを堂々と発表しました。



# 7年間の軌跡「事業のあゆみ」

## 〇……令和元年度

制度設計  
オリエンテーション合宿の試行実施(大雪・妙高)  
地方審査会・全国審査会の実施

## 〇……令和2年度

本格実施・マスコットキャラクター誕生  
オリエンテーション合宿を10施設で実施308名の高校生が参加  
地域探究アワードを「地方ステージ」「全国ステージ」と称して実施  
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインでアワードを実施

## 〇……令和3年度

オリエンテーション合宿を26施設で実施し、623名の高校生が参加  
地方ステージを7ブロックで開催し、177名が出場  
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインでアワードを実施

## 〇……令和4年度

実践活動報告書提出者数が269件となる  
コロナ禍以降、初となる、対面での全国ステージ実施  
過年度出場者を「先輩サポーター」と称し当日運営の支援を開始

## 〇……令和5年度

オリエンテーション合宿を全地方施設(27施設)で実施、934名の高校生が参加  
高校生対象の公募により、「ちいぷろ！」の愛称決定

## 〇……令和6年度

オリエンテーション合宿参加者数が1,000名を越えて1,160名となる  
「全国ステージ」の出場者交流会や司会進行、タイムキーパーなどを先輩サポーターが運営

## 〇……令和7年度

実践活動報告書提出者数が過去最多の293件となる



マスコットキャラクター



「ちいぷろ！」愛称ロゴ

「地域探究」と「プログラム」ふたつの最初の2文字をとり、言葉をイメージしやすくし、ひらがなにすることで親しみやすくしました。「！」をつけることで活動の楽しさやおもしろさを表現しました。



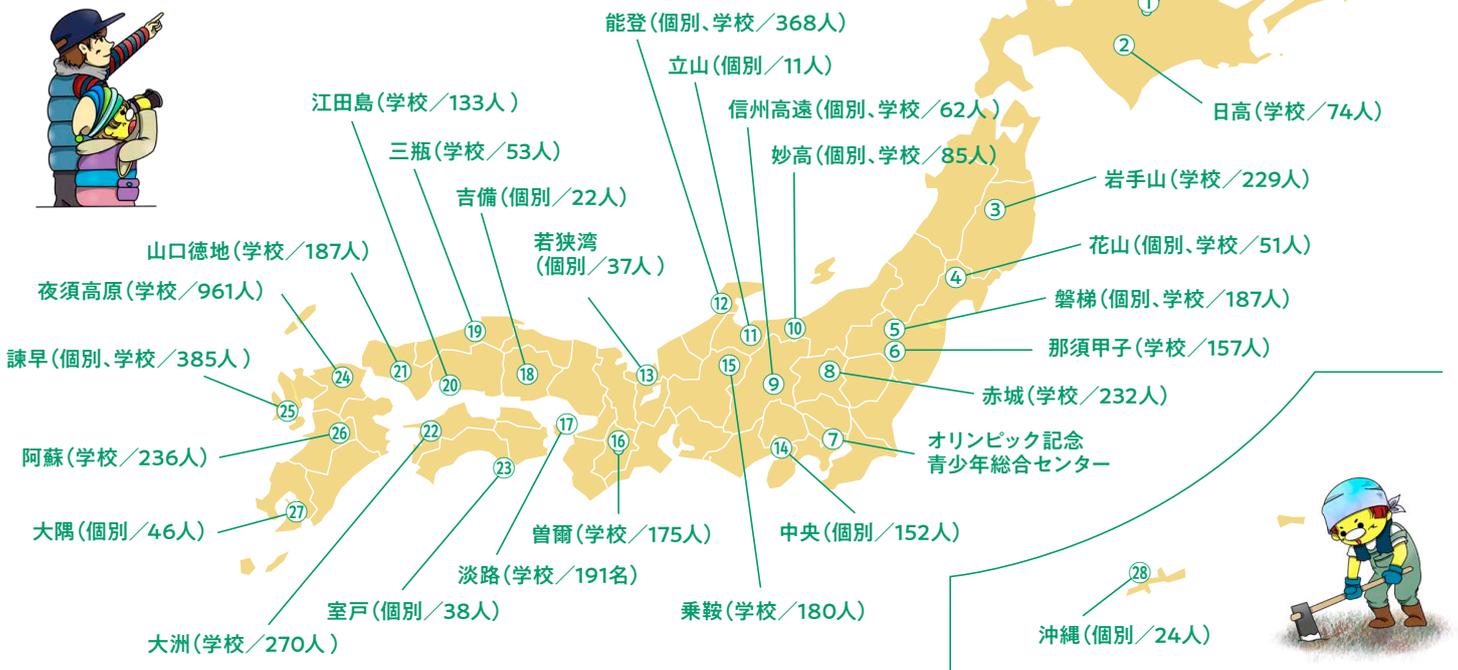
## これまでの推移

|                | R2  | R3  | R4  | R5  | R6    | R7    |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| OR合宿数          | 10  | 26  | 30  | 30  | 31    | 28    |
| OR合宿参加者数       | 308 | 623 | 653 | 934 | 1,160 | 1,123 |
| 報告書提出者数        | 162 | 248 | 269 | 239 | 270   | 293   |
| 地方ST出場者数(個人)   | 7   | 28  | 9   | 5   | 11    | 23    |
| 地方ST出場者数(グループ) | 87  | 149 | 107 | 125 | 178   | 138   |
| 全国ST出場者数(個人)   | 2   | 5   | 6   | 4   | 7     | 5     |
| 全国ST出場者数(グループ) | 20  | 19  | 27  | 21  | 22    | 25    |
| 先輩サポーター協力者数    | —   | —   | 7   | 6   | 12    | 5     |

「ちいぷろ！」の成果を継承して探究のプログラムを展開

## 各施設のオリエンテーション合宿一覧

※施設名/合宿形態/OR合宿修了者数



# 事業参加者アンケートからみる高校生の声

## 1. 地域に飛び込み、未知の自分と出会う

これまで、全国のたくさんの高校生たちが「地域探究」という正解のない問いに挑んできました。当初、多くの生徒が「知り合いがない中での参加で、不安でいっぱいだった」と吐露していました。しかし、オリエンテーション合宿での交流を通じて「同じ思いを持つ同世代」の存在に気づき、自分一人では見つけられない多角的な視点や、地域には課題以上に多くの魅力があることを学び、ワクワクしながら一歩を踏み出していました。

## 2. 実践の苦悩～挫折の中で得た「社会への信頼」～

実践活動は決して平坦な道ではありませんでした。

### 内面的な葛藤

「何度も挫折し、悔しさで泣きながらもがき続けた。その過程で自分の未熟さを痛感し、自分自身と向き合う時間が増えた」という、深い自己内省を伴う成長が見られました。

### 社会との摩擦と突破

「学校内での理解が得られず苦しんだ」という生徒もいましたが、自ら発信を続けることで「地域の大人は、頼れば想像以上に協力してくれる」という確信を得ることができました。

### 本質への気づき

単なるイベントの成功だけでなく、「探究活動は優劣をつけるものではなく、自分の思いを言葉にすることに価値がある」と、評価を超えた本質に気づく生徒も現れました。

## 3. この経験が拓く「未来への航路」

ちいぷろ!は、生徒たちの進路選択に決定的な影響を与えています。

### 具体的なキャリア像

「地域の魅力を発信し、人と人をつなぐこと」を生涯の関心事として見出し、地域共創や福祉、看護、あるいは地元の公務員として街を盛り上げたいという具体的な夢を掲げる声が寄せられました。

### 一生の財産

発表スライドや言葉を練り上げ、周囲を巻き込んだ経験を「一生の財産」と捉え、「この経験で人生が1度・2度も変わった」と断言するほど、ちいぷろ!は、多くの高校生に深いインパクトを残しました。

# ちいぷろ!が変えた私の未来

これまで「ちいぷろ!」では、令和4～7年度にかけて全国ステージ出場者に対して毎年度追跡調査を実施してきました。その内容を整理すると、ちいぷろ!の経験は参加者の地域参加や進路への意識に強い影響を与えており、出場後の活動として地域イベントの運営、商店街での企画、学校での発表、自治体連携などが多数確認されました。また、総合型選抜や大学受験において、活動経験が自己PRや面接での表現に直結し、進学や就職に活かされていることがわかりました。後輩支援や活動の引き継ぎも複数みられ、参加者が“支える側”へと成長していくプロセスが示されています。

## 1. 出場経験がもたらす変化

令和4～7年度の自由記述を分析すると、出場をきっかけとして参加者が地域や社会と多様に関わり、学びを次の行動へと結びつけている姿が浮かび上がりました。地域での企画運営、学校や地元でのPR活動、外部団体との協働など、出場者は幅広い形で地域との接点をつくり続けていました。特に令和6年度・令和7年度では、地域活性化イベントの実施、広報活動、駅前企画、自治会との連携といった具体的な実践例が多く見られました。

## 2. 進路・学びへの波及

自由記述には、探究活動がそのまま志望理由書や面接で活用されたという声が多く寄せられました。全国ステージでの発表経験や質疑応答の経験が自信につながり、総合型選抜での合格、就職内定への寄与が示されていた。中には、当初は別分野を志望していたものの、地域活動を通じて“まちづくり”や“地域学”へと進路が変化した例も確認されました。

## 3. 継続する地域参加とつながり

多くの参加者が、出場後も地元の人や支援者とのつながりを保ち、企画の継続・改善に取り組んでいました。地域の大人に積極的に話を聞くようになった、協力してくれる人の存在が行動の後押しになった、という声も複数見られました。関係性の形成が、行動を継続可能にしていることがうかがえます。

## 4. “支える側”への成長

後輩への引き継ぎやサポーターとしての関わりが多数見られました。出場者が、自らの経験を次の世代に返すという循環が生まれており、これは本事業の長期的な価値を示すものであります。令和7年度では、とくに大学進学後も後輩へアドバイスをしたり、地域団体に企画運営に参加したりする姿が見られました。

# 引率者の声

本事業を通して、生徒が主体的に課題と向き合い、粘り強く探究活動に取り組む姿勢が大きく育まれたと感じています。オリエンテーション合宿では多くの刺激や気づきを得て、その後の実践活動や各ステージにおいては、自ら考え行動する姿が随所に見られました。特に、当初は原稿を読むだけだったプレゼンテーションが、回を重ねるごとに自分の思いや考えを自分の言葉で伝えられるようになった点は、大きな成長です。地方・全国ステージでは、他校の生徒や先輩サポーターとの交流を通して視野が広がり、高い意識や多様な価値観に触れることで、学びへの意欲が一層高まったように感じます。先輩サポーターや施設職員の丁寧な関わりも、生徒に安心感と自信を与えており、地域や学校を越えたつながりの中で得られた経験は、今後の探究活動や進路選択にも大きく生かされると感じています。

# 施設職員の声

「ちいぶろ！」での高校生との関わりは、私の業務の中で最も楽しい時間でした。オリエンテーション合宿初日はどこか不安げな様子の子が、グループワークやフィールドワークを進めていく中で積極的に仲間と協働しながら活動する姿は微笑ましく、そしてその熱量には感心させられました。合宿最終日の発表では、3日間という短時間での成長を感じさせてくれるとともに、探究の素晴らしさや楽しさを語る生徒も多かったです。実践活動報告書の提出直前には高校生とやり取りをしながら過ごすのは、もはや11月末の恒例となっていました。

探究を楽しみ、驚くほどの速さで成長していく高校生の姿を間近で見ている私自身が、最も楽しみ、そして成長させてもらったと感じるとともに、高校生の無限の可能性に改めて気付かされました。この事業が次年度以降、形を変え、新たな高校生の探究的な学びの支援事業として発展的に継続実施されていくことを願っています。

国立中央青少年交流の家  
主任企画指導専門職 間瀬 哲章

「どんな小さなことも、迷うことがあっても進み続け、自分が本当に調べたいこと、伝えたいことを探究していく」羽咋高校1年生が合宿後に語った言葉が今も忘れられません。

「ちいぶろ！」は、単に高校生に学びの場を提供するのみならず、地域に生きる先人の生き方に学び、自らの進路を切り開くための「伴走事業」であるといえます。

はじめの一步を踏み出したいけれど、恥じらいやためらいのある高校生の背中をそっと押せた時の喜び。心躍り、動き出す高校生の姿を観た時の嬉しさ。報告書とプレゼンで熱く想いを語る姿に何度も目頭が熱くなりました。震災から立ち直り、まちを元気にしようとする本気の探究に取り組む高校生は、地域の誇り、私たち機構職員の誇りです。機構としての「ちいぶろ！」は節目を迎えますが、国立能登は高校生に寄り添う探究をさらに充実させていきます。私は学校現場に戻りますが、ここで学んだことや気づきを活かしていきます。

国立能登青少年交流の家  
主任企画指導専門職 酒井 伸大

# 「ちいぶろ！」の成果を継承した次期探究プログラムの展開

～「質の高い探究」と「情報活用能力」を統合した発達段階別アプローチ～

## 「ちいぶろ！」の成果と課題

成果

高校生の地域貢献意欲向上、進路の多様化、地域・学校との連携基盤構築。

課題

「調べ学習で終わる」「生徒任せになる」等の探究の形骸化回避が必要。

次期学習指導要領を見据えたブラッシュアップ

## 質の高い探究的な学び

アントレプレナーシップ醸成、科学技術・ものづくり、個人の興味関心の深掘り

## 情報活用能力の抜本的向上

事前学習(バーチャル)と現場(リアル)の融合、デジタルツールによる情報収集・分析・発信

## デジタル活用 (情報能力向上)

### 幼児期(幼児～小学校低学年) 「好奇心の芽生え」

#### 感覚的・身体的な体験を通じた世界の理解

遊びを通じた学び  
(「なぜ?」「どうして?」を育む)

- 自然あそび(落ち葉、虫、水)
- 色・形・音の探究
- ごっこ遊び(例:森のレストラン)

#### 【直感的なツール活用】

写真・動画撮影等の体験活動

### 学童期(小学校中学年～高学年) 「興味の深掘りと協働」

#### 自発的な調査・まとめと多様な考えの理解

具体的な活動・体験を通じた学び  
(各教科との関連付け)

- 科学実験×自然体験(水質調査等)
- ものづくり探究(木工・クラフト)
- 地域探検(自然・歴史の調査)

#### 【データ収集・分析】

PC/タブレットを用いたセンサー計測、アンケート分析、スライド発表

### 青年期(中学～高校) 「自己と社会の接続」

#### 社会課題への関心と自己の在り方の探究

課題解決を通じて生き方を考える  
(「ちいぶろ！」ノウハウの抽出)

- 地域課題探究 SDGsプロジェクト
- 職業・キャリア探究(専門家対話)
- メディア表現活動(SNS発信等)

#### 【高度な技術活用】

事前VR学習×現場リアル体験、ARドローン・プログラミングを活用した課題解決

## 今後の展開

実践報告やプログラム発信の場を設け、教員・地域実践者の指導力向上を図り、社会全体で探究をサポートする機運を醸成していきます。

## これまで本事業にご協力いただきました団体・支援者等

### 大雪

十勝岳ジオパーク推進協議会、十勝岳温泉株式会社 凌雲閣 代表取締役 青野範子氏、佐川建設 会長 佐川泰正氏、美瑛町役場まちづくり推進課、一般社団法人 美瑛町観光協会 小倉博昭氏、丘のまちびえいDMO 泉剛生氏、合同会社ココ企画 林和寛氏・若生木之葉氏、ハーミット マスター 荒井啓史氏、旭川市観光スポーツ部観光課 浅田秀穂氏・森大樹氏

### 岩手山

岩手県教育委員会事務局学校教育室高校改革担当、岩手県立大学サークルえんぶらり、岩手県立図書館、盛岡市動物公園ZOOM企画営業広報、Earth Building Iwate 磯和亮治氏、岩手県生涯学習協会事務局 佐々木勉氏、岩手県障がい者スポーツ協会事務局 三浦拓朗氏、ブランドストーリー代表 大平恭子氏、フリアーナウンサー 村井由紀子氏、滝沢山山研究会 近藤修三氏、寿限無(あげびつるクラフト) 田中潔氏、エスエル若手菅原のぞみ氏、若手中央青果株式会社 吉田光晴氏、I-Attract 鈴木絵美氏

### 磐梯

福島県立猪苗代高等学校、猪苗代町地域農業活性化センター(アグリいな)、いなわしろ研究所(いなラボ)、一般社団法人Bridge for Fukushima(BFF)、猪苗代町役場、会津若松地方広域市町村圏整備組合猪苗代消防署、福島県警察署、福島県立博物館 主任学芸員 筑波匡介氏、自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所、日本赤十字社福島県支部、磐梯山噴火記念館、防災士 日本防災士会福島県支部 理事 鈴木里美氏

### 赤城

前橋市観光コンベンション協会、大洞商店街、SONATARUE、前橋市地域づくり分野地域おこし協力隊、共愛学園前橋国際大学 児浦良裕氏・奥田雄一郎氏、良農園、本屋 水敏

### 能登

羽咋市立邑知公民館 神子原分館 館長 平井正信氏、羽咋市池田町 有機農家 屋後浩幸氏、羽咋市池田町 元町会長 中山勇晴氏、たきのぼ一風和里 羽咋高齢事業部長兼管理者 森川みなこ氏、羽咋市役所総務部まちづくり課 課長 崎田智之氏、石川県希少種保全推進員 西屋馨氏、羽咋市歴史民俗資料館 係長・学芸員 中野知幸氏、はくい獅子舞保存会 会長 横山孝信氏、はくい獅子舞保存活性化実行委員会 諏訪雄士氏、羽咋市役所総務部まちづくり課 係長 松岡正樹氏、石川県立看護大学 教授 垣花涉氏、妙成寺 執事 大森教生氏、石川県防災活動アドバイザー 松井喜憲氏、内灘町宮坂区長 内灘町震災復興・復興推進協議会 会長 坪内健一氏、羽咋市柳田町岡田地 釜谷外和氏、古瀬巖氏、羽咋市地域包括ケア推進室 社会福祉士 谷智美氏、千里浜地区生活支援協議会 代表 冨山一夫氏、農家レストラン「むらたに」 室谷加代子氏、日蓮宗僧侶(妙法寺住職) 総務部 地域力創造アドバイザー 元立正大学客員教授 元新潟経営大学客員教授 高野誠鮮氏、百万石振談会 事務局 松井正人氏、宝達山山の竜宮城 元管理員 橋英子氏、石川県土木部河川課 防災海岸グループ 課長補佐 西井康雄氏、自家焙煎珈琲店「神音」店主 株式会社 神子の里 代表取締役社長 武藤一樹氏、一般社団法人 まのオフィス

### 乗鞍

株式会社Edo、株式会社コンパス/浅野翼建築設計室 浅野翼氏、すみや 住菜摘氏、喫茶あん 谷口瑛里香氏、Falò Coffee Brewers 竹橋寛記氏、株式会社コーアヘッドワークス 竹本純氏、一般社団法人ホワイエ 深田真由氏、平和メテック株式会社 裏谷章一氏、田中翔子氏、株式会社社連工業/Forest Edge 安江悠真氏、高山市役所山腰明彦氏、株式会社ヒタカラ 近藤葉奈氏、木元茜氏、TRAIN BLEU 成瀬優 氏、kombucha Meister 岩田沙里氏、高山市 市長公室 危機管理課 清水学氏、高山市 森林・環境政策部 処理場建設推進課 山本貴央氏、地域インフルエンサー/SNS 動画クリエイター 飛騨高山 インスタアンバサダー みれいさん (Instagramアカウント名)、NPO法人 飛騨高山ハンドボールクラブ、飛騨高山ブラックブルズ岐阜 理事長兼代表 山越雄一朗氏

### 中央

秩父宮記念公園、有限会社荒井友吉商店、有限会社富士勇和産業、NPO法人みらい建設部、かつまたファーム、荒井園、NPO法人みらい建設部、株式会社ノースゲイト、障害者支援施設インマヌエル、御殿場高原時の橋、渡邊ハム工房

### 淡路

FC AWJ、平岡農園、ホテルニューアワジ、洲本レトロこまち、コモド56、タカラムコーヒー、鳴門教育大学

### 江田島

江田島市役所

### 大洲

国立大学法人愛媛大学 地域協働推進機構 客員教授・非常勤講師 前田眞氏

### 阿蘇

一般社団法人Table、阿蘇市総務部総務課(広報あそ)、(有)イースト写真部門 フォトスタジオイースト

### 沖縄

渡嘉敷村観光産業課 知念優氏、奥那嶺雅晴氏、渡嘉敷村教育委員会 教育長 金城満氏、環境省産良間自然保護官補佐 三石弥弥香氏、渡嘉敷島留学わらびや代表 坂田竜二氏、渡嘉敷村商工会 会長 とかくしマリンビレッジ社長 古波蔵善之介氏、沖縄県立嘉手納高等学校 教諭 長嶺由人氏

### 日高

日高地域活性化協議会

### 花山

はなやまネットワーク 海山裕太氏、東北学院大学 情報学部データサイエンス学科 講師 渡邊圭氏

### 那須甲子

一般社団法人未来の準備室、矢吹町社会福祉協議会、チームよぶき(水素関連産業ワーキンググループ)、矢吹町会田病院、一般社団法人ヒトキト、東北工業大学

### 信州高遠

信州大学教育学部 研究員 横山俊一氏、伊那市役所危機管理課 小松剛氏、いなあいネット 菊田文太郎氏・植代亜希子氏、上伊那広域消防本部 藤根正和氏、地域団体代表 一橋大学 日本学術振興会特別研究員 伊藤将人氏、信州高遠青少年自然の家 研修指導員 大村洋一氏、伊那市地域おこし協力隊 山本風音氏・湯浅春奈氏

### 妙高

元妙高市地域おこし協力隊 ことばねの家 諸岡龍也氏、妙高市鳥獣対策専門員 福島脩太氏、句菜交流館あるるん畑、NPO法人リブランド・プロスノーボーダー、妙高市地域おこし協力隊 塚田太郎氏、上越市地域おこし協力隊 筒井厚貴氏、株式会社山崎建設、有限会社アサップ、水土里ネット 関川水奈、古民家カフェ交代、高床山森林公園、(一社)妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会

### 立山

富山県[立山]博物館、戸崎さふらさと交流館まんだら食堂、あわすのスキー場

### 若狭湾

㈱マツ勤 松本啓典氏、小浜観光局 御子紫北斗氏、赤尾農園 須藤竜乃介氏、田島水産㈱、阿納体験民宿組合、一般社団法人うみから理事 前田和代氏

### 曾爾

一般社団法人そこのわGLOCAL 中野裕介氏、一般社団法人曾爾村農林業公社 高松和弘氏、曾爾高原トマト農家、曾爾村農業委員会、曾爾村役場企画課、曾爾村議会 議会運営委員会、民宿 木治屋、曾爾のあさひ、やどり木(園ちゃん農法)

### 吉備

加茂川有害獣利用促進協議会、吉備中央町、株式会社直島文化村 ベネッセハウスツアーズデスク・教育研修部 山口俊一氏

### 山口徳地

Maru旅遊社 丸本華代氏、千々松和紙工房 千々松友之氏、徳地和紙ワークス 船瀬春香氏、とくち健康茶企業組合 増田 久美子氏、超民家やまね 山根賢三郎氏、山根早紀氏、徳地幕末維新歴史放談の会 山田文雄氏、山口観光コンベンション協会 池田大乗氏

### 室戸

室戸市まちづくり推進課、むろと廃校水族館、吉良川町並み保存会、室戸市生涯学習課、室戸市地域おこし協力隊、室戸市集落支援員

### 夜須高原

株式会社KURUMEグッドフーズ 原田憲一郎氏、株式会社絆 宮原友和氏、久留米西鉄駅前商店街振興組合 栗秋武徳氏

### 諫早

特定非営利活動法人日本防災士会長崎県支部、(株)エデュアクティブーターズ代表 門田卓史氏、長崎県県立振興局農林部林業課普及班、NPO法人インフィニティ、九州電力長崎支店、諫早市危機管理課、諫早市市拓室、諫早市自治会連合会会長

### 大隅

鹿屋市教育委員会生涯学習課、鹿屋市地域活力推進課、特定非営利活動法人くすの木自然館 代表理事 浜本 麦氏・UD担当 石神愛梨氏、鹿屋市細山田コミュニティ協議会 会長 中辻浩一氏・副会長 重吉秀美氏・副会長 上山晴美氏・書記 川井田新氏

## 連携先高等学校等一覧

### 大雪

北海道上富良野高等学校、北海道剣淵高等学校

### 日高

北海道日高高等学校

### 岩手山

岩手県立雫石高等学校、岩手県立葛巻高等学校、学校法人岩手奨学会 岩手高等学校プログラミングコース、第一学院高等学校盛岡キャンパス、トワイ式高等学校、岩手県立平館高等学校

### 磐梯

福島県立猪苗代高等学校

### 花山

宮城県築館高等学校、宮城県若ヶ崎高等学校

### 那須甲子

福島県立光南高等学校

### 赤城

前橋市立前橋高等学校、群馬県立沼田女子高等学校、群馬県立富岡高等学校

### 信州高遠

さくら国際高等学校伊那キャンパス

### 妙高

新潟県立直津中等教育学校、新潟県立津南中等教育学校、新潟青陵高等学校、新潟県立久比岐高等学校、妙高市 MYO 高校部

### 能登

石川県立羽咋高等学校、石川県立鶴来高等学校、石川県立宝達高等学校

### 乗鞍

学校法人飛騨学園高山西高等学校

### 淡路

兵庫県立洲本実業高等学校

### 曾爾

奈良県立添上高等学校

### 三瓶

島根県立浜田高等学校、島根県立隠岐島前高等学校

### 江田島

広島県立大柿高等学校

### 山口徳地

山口県立防府高等学校佐波分校、山口県立山口高等学校

### 大洲

愛媛県立長浜高等学校、愛媛県立宇和高等学校三瓶分校

### 阿蘇

熊本県立阿蘇中央高等学校(夜須高原)福岡県立筑豊高等学校、久留米市立南筑高等学校

### 諫早

長崎県立平戸高等学校、長崎県立長崎北陽台高等学校、長崎県立佐世保南高等学校

## 先輩サポーター一覧

板垣咲南、小池りりい、後藤祐貴、駒走句星、出口若菜、豊田彬人、野村隼叶、林恋、東琴乃、東琉斗、広瀬永真、星野そよ風、堀金康太、松井理子、重松そら、三浦優依、三森幹太、宮内寛人、森下颯樹、安村歩、山下みこと、山本航平

